北九州市地球温暖化対策実行計画 概要 ～ゼロカーボンシティの実現に向けて～

Kitakyushu City ACTION PLAN Global Warming Countermeasures

計画本編・資料編はこちら

01 なぜ必要？（背景）

地球温暖化は、私たちの暮らしや経済、自然環境に深刻な影響を及ぼしています。

猛暑日が増加



このまま対策を行わない場合

２１世紀末には
日最高気温35℃以上の猛暑日が年間約25日増加
（20世紀末の猛暑日：年間約1.7日）

短時間強雨の増加



このまま対策を行わない場合

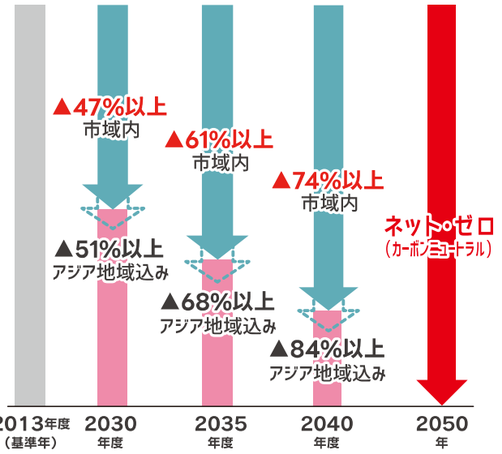
２１世紀末には
1時間50㎜以上の強雨の年間回数が約2.8倍に
※いずれも20世紀末から4℃上昇した場合の九州北部地方の予測

北九州市も、未来の世代のために今、行動します！

02 温室効果ガス削減目標

2030年度以降の削減目標（2013年度比）

・市域内において国を1％上回る目標を設定
・アジア地域の温室効果ガス削減にも貢献



2050年に温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指します

03 北九州市が目指す２０５０年の脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）

脱炭素の取組が生活の質向上につながると捉え、Ⅰ～Ⅳを同時実現する「北九州モデル」を構築します。また、「北九州モデル」の国外展開により国際貢献を果たし、2050年の脱炭素社会を目指します。

- Ⅰ エネルギーの脱炭素化（省エネ、再エネ・水素等の導入）
- Ⅱ イノベーションの推進（研究開発、産業経済の脱炭素化）
- Ⅲ ライフスタイルの変革（市民環境力の向上、行動変容）
- Ⅳ 気候変動に適応する強靭なまち（災害時の電源確保、強靭なまちづくり）

→ **北九州市が目指す脱炭素社会「北九州モデル」**

→ Ⅴ 国際貢献（「北九州モデル」の展開、世界の脱炭素化への貢献）

→ 環境と経済の好循環による脱炭素化を軸に、都市や企業の価値・競争力を高め、快適で災害にも強く、誰もが暮らしやすい社会を目指す

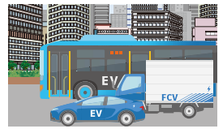
04 何をする？（主な取組）

緩和策（温室効果ガスの排出を抑える取組）

再生可能エネルギーの導入や省エネの推進などにより、温室効果ガスの排出を減らします。



家庭部門
- 環境配慮型ライフスタイルへの転換に向けた広報啓発
- 住宅の脱炭素化に向けた普及啓発



運輸部門
- 公共交通や自転車の利用促進
- 次世代自動車の普及啓発



業務部門
- 省エネ設備等の導入補助
- 建築物の脱炭素化の普及促進



産業部門
- 風力発電関連産業の総合拠点化の推進
- 市内企業のGXの推進

適応策（気候変動の影響に備える取組）

気候変動の影響による被害を回避・軽減するため、自然災害や健康などへの対策を進めます。



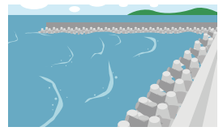
農業・林業・水産業
- 森林の健全な育成
- 水産環境の整備



水環境・水資源
- 水環境の保全（公共用水域における水質等の調査）
- 水資源の有効活用（下水処理水の再利用）



自然生態系
- 自然環境に関する市民啓発
- 市街地における緑地の保全・活用



自然災害・沿岸域
- 災害に強い安全・安心なまちづくりの推進
- 洪水対策



健康
- 熱中症予防の啓発
- 救急医療体制の維持・確保



産業・経済活動、国民生活・都市生活
- 避難所における災害時の自立電源の確保
- 中小企業の防災力強化の促進

市役所の取組

建築物の省エネ対策、公用車への電動車の導入、公共施設の再エネ100％電力化、プラスチックごみ発生の抑制、公共工事の脱炭素化　など

05 市民・事業者の皆様へ

脱炭素に向けた取組事例や補助金・支援制度等の情報を北九州市脱炭素ポータルサイトで紹介しています。

北九州市脱炭素ポータルサイト

